

モリコロパーク春まつりに出展しました

去る3月4日(土)5日(日)モリコロパークイベント企画運営実行委員会主催による春まつりイベントが大芝生広場で開催され、参加体験型プログラム16ブースの出店がありました。

また同時開催で隣のステージ広場では「中部北陸いいものフェア」があり大芝生広場は多くの人で賑わいました。

あいちサトラボ里山開拓団も協力団体として「花餅を作ってみよう」で参加しました。花餅は五穀豊穡や雛祭りなど各地でありますが、飛騨地方では寒さと降雪で花を手にすることが出来ない中で正月飾りとして生まれたものだそうです。

朝から花曇りの中、スタッフ11名がラボハウスでサトラボ産のもち米で紅白の餅を作る班と会場で花餅づくりを見守る班に分かれ、10時より受付開始し、体験料100円、お土産にサトラボ産の白菜をプレゼントしました。

参加者は丸太の台(檜の間伐材を加工)に飾られた見本の花餅を参考に、紅白のお餅を小さくちぎって交互の飾りつけに苦戦しておりましたが、出来上がると達成感で満足そうに写真撮影をしていました。次々と家族連れが入れ替わり好評で、午後1時30分には予定数を超えて46組69名のお客さんで完売御礼の掲示となりました。

スタッフは自然を大切にしながらのサトラボの活動や、里山たいけん隊募集とチラシを説明しPRに努めていました。

あいちサトラボ里山開拓団

サトラボへの行き方

サトラボ周辺は現在工事中です。
①北口から入って、地球市民交流センターの前の道を左折したらまずはまっすぐ進んでください



②白いフェンスが見えたらフェンス沿って進んでください。



③左に入っていく道を進むとその奥がサトラボです。



各グループの活動(2022年11月～2023年5月)

田んぼグループ

脱穀を終えた田んぼは、静寂に包まれます。ひと時のお休みとなりますが、長く休んではおられません。春に向けて栄養がたっぷり入った田んぼの土を作らなければなりません。固くなった田んぼの土を耕運機にて掘り起し土を砕き細かくして空気を入れ、堆肥と燻炭を混ぜあわせて養分を活性化させます。その他小石と畦草の除去と、畦畔と水路等の修繕も行います。この作業が春先まで続きます。

写真タイトル



果樹グループ

収穫祭では初めてキウイの収穫体験を行い大盛況でした。(次年度も楽しみです)

ブドウ棚の単管骨組みの改造(中間支柱及び骨組み補強用筋交い新設)を行いました。

冬剪定ではブドウの病害虫対策として大剪定を行いました。

カキ、グミ等、他の果樹は団員の皆様に協力を頂きました。柑橘類(シークワサー1本、ミカン「せとか」2本)を植え付ました。



中間支柱及び補強筋交い新設

畑グループ

サトラボの畑では、草取りや野菜の残渣などをたい肥にして、畑に戻しています。冬には約1年間毎日蓄積された堆肥の切り返しを行います。堆肥の切り返しは、余分な水分を飛ばして、好気性微生物に酸素を送ることなどを目的として行います。堆肥化処理の最も重要な作業です。

写真は切り返しを行って、堆肥枠を外した後の様子です。草や野菜残渣が層になっているのが分かります。



堆肥のミルフィーユ

花壇グループ

サトラボのパンジー、ビオラ、葉ぼたんは、サトラボ生まれのサトラボ育ち。たとえばパンジーは去年の8月の終わりに種子をまき、9月中旬ごろにポットに移して育て、11月終わりに花壇に植えました。売っている苗より咲き始めは遅いけれど、サトラボの気候に慣れて、春の終わりまで元気に咲き続けます。3月からは、夏から秋に咲く花の種子をまき、ポットで苗を育てています。



見事に咲いたパンジー、ビオラ

森グループ

里山たいけん隊の皆様には落ち葉掻き、椎茸の菌打ち、花炭作りなどを体験して貰いました。折り紙など大変綺麗な花炭が出来ました。ラボハウスには恒例になっている門松飾りをしました。森内にスロープカーが建設されることになりツツジと山桜を移植しました。

新規会員も増え活動に拍車がかかりました。海上の森から頂いた檜材加工については特集でご紹介します。

花炭づくりの様子



イベントグループ

今回は、四季の行事を体験していただく企画「里のエコクラブ」の紹介です。

お正月・節分・雛祭り・端午の節句など、昔から四季の移り変わりや子どもの成長を願う行事を大切にしてきました。そんな里山のていねいな暮らしを、小さな子でも作れるクラフトで各行事の「準備」をしました。

残念ながら、2019年から始まったこの企画も今回で最後。翌年度から1年を通したプログラムとしてリニューアルしますよ！



竹のひな人形づくり



特集：ヒノキ材の加工

海上の森様からヒノキの間伐材(丸太)を譲渡して頂き森グループで工作として活用をさせて頂きました。

丸太からヒノキ皮を取り出すため皮むき用の竹ヘラを作成し、丸太にナタで切れ目を入れてから竹ヘラで皮剥きをします。右下が取り出したヒノキの皮です。



竹へらづくり



皮剥きのはじめ



取り出したヒノキの皮

皮を剥いだ丸太から今度は板材を取り出す体験をして貰いました。斧を入れる部分にチェーンソーで切り込みを入れ、斧とクサビを使いながら板材を取り出します。この作業が大変難しく思った様に割れません。



板材の切り出し中

右は取り出した板材の写真です。その後、手斧(チョウナ)で荒削りし、更にカンナで仕上げていきます。



ヒノキの皮と板材を取り出しましたので色々と活用しました。春祭りにブースを出展し花餅作りをしましたので、出来上がった花餅を置く台をヒノキ材で作ってみました。鍋敷きやスウェーデントーチ風の置物も作ってみました。ヒノキは薫りが良く気持ちが和らぎます。置物なのでかなり小さいサイズで作りました。

今回ご紹介する工作例はミニチュア小屋です。屋根はヒノキの皮で檜皮葺きとしました。回りは丸太から取り出した板、手摺と小窓はコナラを利用しました。

芝生は人工芝風の敷物をして雰囲気を出しました。

作成したミニチュア小屋



ご意見箱が何かに利用できればと思っています。

横の窓からご意見を投入、入口の戸の門灯を外せば戸が開き取り出せます。

サトラボ森グループでは年に数回色々な体験をして貰っておりますので是非ご参加ください。



サトラボメモ

「サトラボキッド隊」の紹介

本年度より新しく「サトラボキッド隊」という6月から翌3月まで計7回の体験プログラムを実施します。(但し本年度は募集終了)。

内容は、サツマイモを植付け、苗の成長を観察し、秋冬野菜の栽培や里山の季節行事の体験など楽しんでいただきます。お子様は3才から小学生を対象とし、保護者同伴となっています。「あいちサトラボ」の豊富な自然の中でおもいっきり羽ばたきましょう。

サトラボの生きもの

ニホンカナヘビ(カナヘビ科カナヘビ属)

北海道~九州に生息していて、名前にヘビと付いているがヘビではなくトカゲの仲間です。

尾が非常に長く、体長の3分の2を占めています。サトラボでは田んぼの畦道や畑、草むらなどで見ることができ、特に稲刈りや脱穀の時など秋に最も多く見ることができます。

ショウリョウバッタを捕食するニホンカナヘビ





私のおすすめ

麺打ち体験とかけうどんの試食会

サトラボでは、毎年小麦栽培に取り組んでいます。栽培は、県農業試験場から、開発間もない麺用小麦「きぬあかり」の試験栽培を依頼されたのがきっかけでした。

6月中旬、鳥獣被害を受けながらも、収穫期を迎え、たいけん隊員や団員の手で収穫、脱穀、製粉の過程を経てやっと小麦粉の完成です。この粉を使ってうどん打ちに挑戦。うどんの出来は、気温や塩水の量、塩水の温度、こね具合などに左右されると言われますが、想像以上に悪戦苦闘の連続でした。

時期は厳冬期、粉をこねても纏まらず、一晩寝かせても発酵が進まず、力づくでの生地伸ばし。それでも何とか茹で上がり、野菜のてんぷらをトッピングしてイリコだしの汁をかけたかけうどんの味は格別でした。次回は、気候にも配慮して再挑戦したいと思っています。



今後の行事予定

月	内 容		
8 月	5日(土) 里山たいけん隊④	19日(土) サトラボキッド隊③	26日(土) 月例会
9 月	23日(土) 月例会	24日(日) 秋祭り	30日(土) 里山たいけん隊⑤
10 月	7日(土) 里山たいけん隊⑤	14日(土) サトラボキッド隊④	21日(土) 里山たいけん隊⑥
10 月	10月下旬～11月上旬 「サツマイモ掘り体験」(予定)		28日(土) 月例会
11 月	11日(土) 収穫祭	18日(土) サトラボキッド隊⑤	25日(土) 月例会
12 月	2日(土) 里山たいけん隊⑦		23日(土) 月例会

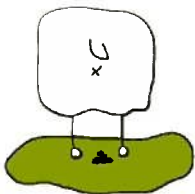
お知らせ

「あいちサトラボ里山開拓団」では常時団員を募集しています。開拓団は、あいちサトラボエリア内で、団員相互に協力しながら里山づくりの活動をしています。

毎週土曜日が共同作業日で、多くの団員が活動しておりますので、興味がある方は是非一度見に来てください。

2022年度は○人の新人が入団してくれました。それぞれ、田んぼ、畑、花壇、森グループに入って、作業を担当しています。なお、お気づきと思いますが、果樹グループの人員が不足ぎみです。果樹の作業に興味がある方、お待ちしております。

「こんなことやってみたいんですが」という新規の試みについても一度ご相談ください。



編集後記

サトラボ通信もついに2年経ち、4号を発行するに至りました。今回から紙面を大きく、文字も見やすくなりました。プチリニューアルしました。

どうでしょうか？読みやすくなりましたでしょうか？

サトラボ通信に関するご意見、ご感想もお待ちしております。



開拓団のブログです
こちらもよろしく

発行所 あいちサトラボ里山開拓団
 発行人 片岡 巖雄
 住 所 愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
 愛・地球博記念公園管理事務所
 里山開拓団事務局
 TEL 0561-64-1130